

平成29年度第2回 白井市子ども・子育て会議  
 摘録

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 会 議 名   | 平成29年度第2回白井市子ども・子育て会議  |  |
| 日 時     | 平成30年3月12日（月） 午後2時から午後3時30分まで  |  |
| 場 所     | 保健福祉センター 2階 検診室  |  |
| 出席者氏名   | 委 員  | 風間会長、古川委員、菅森委員、宮根委員、稲石委員、桑原委員、小林委員、駒村委員、寫田委員、寺田委員、杉江委員、森委員、植本委員（13名）             |
|         | 事 務 局  | 健康福祉部 五十嵐部長<br>子育て支援課 眞仲課長、綿崎主事<br>保育課 松丸課長、片桐主査<br>健康課 黒澤課長、渡辺主任看護師、篠田主任保健師（8名） |
| 欠席者氏名   | 鳥海委員、田村委員、鈴木委員、嶋本委員、橋口委員（5名）   |  |
| 傍聴者     | 2名   |  |
| 次 第     | 1. 開 会<br>2. 会長あいさつ<br>3. 議 題<br>(1) 平成28年度白井市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について<br>(2) 認可保育所（あい・あい保育園西白井園）の確認について<br>(3) その他<br>4. 閉会 |  |
| 議 事 内 容 | 次ページ以降のとおり   |  |

## 議 事

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議題

#### (1) 平成28年度白井市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について

議長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

子ども・子育て支援事業計画は子ども子育て支援法に基づく計画で、現行のしろい子どもプランにおいては、平成27年度から31年度までの5年間の量の見込み及び確保方策について定めておりますが、この計画における平成28年度の実績について報告させていただきます。次に、白井市次世代育成支援地域行動計画については、次世代育成支援対策推進法で定める市町村行動計画に基づく計画となります。

個別の事業については、75事業、92項目となっており、この計画に位置付けた事業について進行管理を行い、実績を報告するものです。

次に、白井市母子保健計画については、平成31年度における最終目標値に対して、平成28年度の実績値を報告させていただきます。

議長：議案に対する質疑はありますか。

委員：予算、決算額の単位は千円ですか。あと予算・決算0の事業で、進捗状況が順調となっているのは、予算はないけれども、事業はうまくいっているとみてよいのでしょうか。

事務局：千円単位の表記となります。

また、予算・決算0の事業については、事業を実施していないということではなく、経費を使わずに事業を実施したということでご了解いただければと思います。

委員：一時預かり事業について、保育士不足の関係で実施できていないというお話ですけど、25年度の4か所から2か所減りましたが、どこが残っていて、どこが無くなってしまったのかというのを教えていただきたい。

事務局：今現在2か所残っている一時預かり事業については、公立保育園で行っている清水口保育園と南山保育園となります。

25年度につきましては清水口、南山保育園のほかに私立保育園2か所で一時保育の実績がありましたので、4か所とさせていただきます。

委員：病児・病後児保育について、以前は白井聖仁会病院1か所でしたが、どこか増えたのでしょうか。

事務局：病児・病後児保育については、鎌ヶ谷市と協同で行っている事業で、白井市においては白井聖仁会病院で病児保育をおこなっております。

また、鎌ヶ谷市の鎌ヶ谷総合病院で病後児保育をお願いをしており、計2か所となります。

委員：市民の皆さんにあまり知られていないような印象を持つんですけども、広報のはどのようにしていますか。

事務局：広報紙への掲載や保育園等にパンフレットを置かせていただいております。

委員：どの位の利用がありますか。

事務局：利用にあたり事前の登録が必要となりますが、登録につきましては約200名ほど、利用者については延べ人数となりますが、平成29年度の4月から1月までで250名を超える方の利用があります。

議長：ほかに質問はありますか。

質問はないようです。

議長：平成 28 年度白井市子ども・子育て支援事業計画実績報告について、承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

（ 挙手全員 ）

議長：議題（１）、平成 28 年度白井市子ども・子育て支援事業計画実績報告については、原案のとおり承認しました。

## （２）認可保育所（あい・あい保育園西白井園）の確認について

議長：事務局からの説明を求めます。

（事務局より趣旨説明）

まず、新設される保育園の概要についてご説明させていただきます。

名称は、あい・あい保育園西白井園、住所が、白井市根 1922-14 となります。

経営主体は株式会社グローバルブリッジとなり、市内の事業所内保育所、キッズアテンダント保育所の運営を行っており、当市でも実績のある保育事業者となります。

定員については、0 歳児が 6 名、1 歳児が 10 名、2 歳児から 5 歳児までが各 11 名の、計 60 名定員となります。

敷地面積が 999 m<sup>2</sup>、木造 2 階建て、保育室 6 室を含む総床面積が 368.7 m<sup>2</sup>となり、園庭については、197 m<sup>2</sup>を確保しております。

確認項目については、設備、保育事業者等における他施設の運営状況、職員、周辺環境の 4 項目となりますが、全て基準等を満たしており、特に問題はないものと考えております。

また、今回委員の皆様にご審議いただく内容としましては開所する保育園の利用定員の確認ということになります。

この確認については、3 歳児から 5 歳児までの 2 号子どもと、0 歳児から 2 歳児までの 3 号子どもに区分し、それぞれ利用定員を定めたいうえで確認を行うこととされておりますが、この利用定員を定めるときは、子ども・子育て支援法第 77 条第 1 項に規定の、審議会その他の合議制の機関の意見を聞くこととなっており、ここに位置付けられている機関が、子ども・子育て会議ということとなります。

また、適切な利用定員かどうかは、市の計画上過剰な利用定員の設定となっていないかどうかについて確認していただくこととなります。

現行の子ども・子育て支援事業計画における平成 30 年度の 2 号と 3 号を合わせた保育需要の合計として、1,100 人の需要を見込んだ計画となっており、また、計画上の確保量は 2 号で 585 人、3 号で保育園や地域型保育事業を合わせて 379 人であり、合計で 964 人分の保育の受け皿を確保する計画で、平成 29 年度と平成 30 年度の計画上の確保量を比較した場合、60 人分の増加を見込んでおり、この 60 人分が今回の認可保育所分となります。

これに対し、平成 30 年 4 月定員数としては、2 号で 573 人、3 号が 367 人、合計で 940 となり、若干計画数値には足りない状況となっておりますが、適切な定員構成と考えております。

なお、不足分については、平成 29 年度中に私立保育園での定員拡大を見込んでおりましたが、保育士不足により拡大に至っていない状況によるものです。

これまで定員での説明をさせていただきましたが、定員弾力化により、施設の面積基準や保育士の配置基準を満たした場合、一定割合定員を超えて児童を受け入れることができる受入枠については、平成 30 年 4 月の見込みで、必要保育量 1,008 名に対し、あい・あい保育園を加算した同年 4 月の受入枠は、1,037 名となっており、総数としては需要を上回っている

ものの、年齢ごとの受入枠については特に 1,2 歳が不足している状況が生じており、引き続き待機児童の解消に努めてまいります。

議長：議案に対する質疑はありますか。

(しばらく意見なし)

定員設定の 60 名ということについて、何か意見ありますか。

(しばらく意見なし)

定員 60 名ということによろしいですか。

(はい、という者あり)

それでは、認可保育所「あい・あい保育園西白井園」の確認について、承認することに賛成の方は挙手を願います。

( 挙手全員 )

議長：議題(2)、認可保育所「あい・あい保育園西白井園」の確認については、原案のとおり承認しました。

### (3) その他について

議長：その他について事務局から何かありますか。

事務局：子育て支援課から報告させていただきます。

前回の会議のときに委員の皆様から意見をいただき、子どもの生活実態調査を1月の末から2月にかけて実施しました。

対象としては1000件の世帯に配布し回答率は45.7%ということで、その中で色々と分析をしていきたいと考えているところです。

調査結果につきましては、30年度にあらためて会議の中で報告させていただければと思います。

議長：今の件について何か質問はありますか。

(しばらく意見なし)

続きまして他に事務局の方から何かありますか。

事務局：保育課から報告させていただきます。

先程、市の待機児童対策ということで説明させていただいたところですが、待機児童対策の1つとして、幼稚園での保育需要の受入れということを掲げています。

平成30年4月の待機児童の見込みとしましては24名、空き待ち等が13名、合計で37名となっています。

当初計画では幼稚園から認定子ども園へ移行し、保育需要の受入れを想定していましたが、認定子ども園への移行については給食室などの施設整備を伴うということで進んでいないのが現状です。

市ではこのような現状を踏まえ、現在幼稚園で行われている預かり保育の拡充のための予算を、来年度当初予算に計上しております。

働きながら保育所として幼稚園を利用できるといったかたちで待機児童の解消を図りたいと考えております。

議長：今の件について何か質問はありますか。

委員：預かり保育拡充ということで、具体的にはどれくらい的人数が、利用できる枠が広がるのか教えていただきたいのですが。

事務局：平成30年度は枠として6名分の予算を計上しております。

幼稚園の協力が不可欠となりますので、十分協議をしながら進めてまいります。

委員：待機児童の状況について詳しく教えてください。

事務局：待機児童について 24 名の内訳をみますと、1 歳児、2 歳児で保育受入れ枠を超える申し込みをいただいている状況です。

保育受入れ枠の拡充などを保育園と協議しておりますが、結果として 1 歳児、2 歳児において 24 名の待機児童が発生している状況となります。

委員：今後も保育需要が増加するという予測をたててますか。

事務局：市の人口推計上は平成 32 年度をピーク人口減少の見込みですが、保育需要というのは増加していくのではないかと考えており、小規模保育所の誘致など、待機児童対策について検討してまいります。

委員：最後に要望として、保育ニーズは人口減少という中でも増えていくと思います。

父母の要望としては公平、均一のサービスを受けられる公立保育園というのが第一の願いですが、選択肢が少ないという声も多くて、私立、民間、小規模含めて受け皿を広く、多く確保していただきたいというのが願いです。

委員：乳児家庭の訪問でも保育園のことが心配という声があります。

白井市で子育てをしたいという若いお母様たちのためにも、ぜひ誘致のほうをよろしく願いします。

議長：ほかに質問ある方はいらっしゃいますか。

委員：2 点あります。

まず、小中学校へのエアコン設置事業の延期について、経緯と原因、対策について説明いただけますか。

議長：この説明は教育委員会でなくても大丈夫ですか。

事務局：市長が議会等で答弁させていただいている範囲で説明ということでご了解をいただきたいと思えます。

お子様の健康・学習環境を考えたときに、エアコン整備の必要性については認識しておりましたが、市としては市民の安心・安全というものを最優先に、耐震改修などの大規模事業を優先的に実施させていただきました。

そういった中で、庁舎の整備や小中学校の大規模改修等も一定の目途がついたため、エアコン整備について検討を進めてまいりましたが、市税の減少傾向の一方、扶助費等の歳出が増加傾向にあることから、将来の白井市をより良い形で残していくために、再度の検討について、先の市議会で説明をさせていただきました。

今後は、平成 33 年度から始まる、総合計画の後期の 5 年計画の中で財政推計などを踏まえ、エアコン整備については優先的に実施していくということで皆様のご理解をいただいたところです。

委員：次の 5 年計画で優先的にということですが、暫定的にでも、例えば低学年のクラスや騒音などにより窓を閉めなくてはいけない学校だとか、絞った形でも前倒を検討できないかというのを意見として持っています。

議長：事務局からこの場で結論的な回答は難しいと思いますので、皆様子どもと関わっている立場から、思いがあればこの場で市のほうに伝えておければいいかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(しばらく意見なし)

事務局：それでは、いただきましたご意見につきましては、市長・副市長、担当部署へ伝えさせていただくということで、ご理解いただきたいと思えます。

ご意見、ありがとうございました。

議長：次をお願いします。

委員：先般要望書を提出しましたが、使用済みオムツの園内処分について再要望します。

市内の公立保育園では保育時間中に出た使用済みオムツを保護者が持ち帰っていますが、臭気などの衛生的な問題から園内処分を望む声が出ています。

近隣市の状況について調べてみましたが、処分費を市負担により園内処分しているという自治体が6市、前向きに検討している自治体が3市ありました。

また、南山保育園の全父母を対象にアンケートを実施したところ約半数の方が使用済みオムツを園で処分してほしいとの回答があり、それをもとに市へ要望書を提出しました。

結論としては、財政状況などから実施は難しいということで見送られましたが、清水口保育園においても使用済みオムツの園内処分を望む声が多数あるという報告を受けております。改めてこの問題については重く受け止めてほしいというのがありまして、まず優先は待機児童であるとかエアコンであるんですけども、この中でも衛生面のリスクのある問題でありますので、今一度検討いただけませんか。

事務局：多くの保護者の方々より要望として出ているということは充分認識しておりますので、引き続き検討させていただくということで、ご了解いただきたいと思えます。

委員：使用済みオムツを処理する費用というのはどのくらいかかるものなんですか。

事務局：回収方法により経費は変わってきますが、この場に資料が無いので費用については確認できません。

申し訳ありません。

委員：例えば保護者が費用を負担して実施したいと申し出た場合、市は許可をしますか。

事務局：行政側としては私立保育園も含め、本来であれば一定のサービスというのが望ましいと考えておりますが、園において父母会が独自に行うということもひとつの方法かと思えます。

議長：市内で保育サービスを受けるという観点では公平性の問題や、自己負担には否定的な見解をお持ちの方など、この問題はまだまだ検討材料が多いことから、引き続き市のほうで検討をお願いするということでよろしいですか。

委員：父母会としての共通の認識としては、あくまで公共サービスとして実施していただきたい。

議長：経費の問題など優先順位もあると思えますが、子どもを取り巻く環境をより良いものにしていただきたいと思えますので、引き続き検討をお願いします。

このほか、何かご意見ありありますか。

委員：3点あります。

まずドリームチャレンジャー事業について、現在の状況と来年度以降の展望を教えてください。

事務局：ドリームチャレンジャー事業については、ある一定の年代の方に偏った事業であったことから、参加率が非常に低いという結果となりました。

このことから、平成29年度をもちまして一旦事業を休止をさせていただいて、ある一定の年代のお子さんに対する事業が本当に有効かどうか、また、子育て支援というよりも子育てというかたちで体験等また将来の夢に向かってという部分を踏まえながら検証させていただきたいということで、平成30年度についてはドリームチャレンジャー事業としては予算計上をしておりません。

委員：2点目、放課後子ども教室について、現在2つの学校で行われていますが、来年度以降の拡大の予定はありますか。

あと、元プロの選手が放課後子ども教室で何かをやると記憶していますが、そういう新しい感じのことを他にも考えていますか。

事務局：こちらは教育委員会のほうの事業になっておりまして、詳細については把握していない状況ですが、教育委員会からは来年度以降事業計画をたてて取り組んでいくという報告を受けております。

委員：それでは要望として、放課後子ども教室のような安心して過ごせる場所があるということが保護者の人にとっても有益だと思っておりますので、できれば市内全域、各中学校区単位でもいいので作っていつてもらえるといいなと思っております。お願いします。

3点目、これは要望になるんですが、スポーツを通して青少年を健全に育成していきましようという団体、白井市スポーツ少年団というのがありますが、その認知度が低いため団員の減少傾向が続いています。

教育委員会の話になってしまいますが、小学校で紹介チラシみたいなものを配ってもらえると大変ありがたいなと思っています。

事務局：今いただきました周知の方法等については、お話がありましたとおりに教育委員会のほうで所管しておりますので、そういったお話があったということは同様に伝えさせていただくということでご了解いただければと思います。

議長：ほかにご意見ありますか。

委員：保育士不足というお話がありましたが、そのことについて市で方策とかはありますか。市の置かれている状況を資格保有者に知ってもらうとか、資格はないけれどもやってみたいとかいうお母さまがいらっしゃるのであれば、そういう方たちを対象に資格取得の支援をしますよみたいなこと、足りないというのであればそれを解決してみたいなと思いました。

事務局：まずは先ほど資格ある、なしという話がありましたが、現在公立保育園では資格のない方たちにもお手伝いいただいている状況です。

また保育士確保という部分では、平成29年度から私立保育園の保育士を対象に住宅などの賃料に対する補助制度の創設や給料の補助など、保育士の処遇改善を実施しており、引き続き実施していきたいと考えております。

このほか、市内の保育園、幼稚園の皆さんのご協力をいただき就労支援セミナーを開催しており、実際の保育現場のお話を聞ける場をとして好評をいただいております。

委員：そういった市の取り組みを、広く市民の方に知っていただくような活動をこれからもっとやると、市も頑張っているなということになるのかと思います。

また、やっても良いという方が入りやすい環境を作られるとより良くなるのではないかなと思います。

議長：ほかに意見はありますか

では、よろしいでしょうか。

本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。

以上を持ちまして、平成29年度第2回白井市子ども子育て会議を終了させていただきます。

#### 4. 閉会

(終了)